

人文研アカデミー

第一次 世界大戦 と 芸術



5/17

トラウマ

—第一次世界大戦を体験した
作曲家たち

講師：岡田純生

6/7

ダダと戦争

—チューリッヒからパリへ

講師：塚原史

5/24

危機と再生

—秩序の回復へ

講師：高階秀爾

5/31

イタリア無声映画
の栄光と没落

—ジョヴァンニ・パストローネ
「カピリア」(1914)を巡って

講師：石田美紀



●各日とも 18:30—20:00

聴講無料・来聴歓迎

場所：京都大学人文科学研究所本館 大会議室
[東山東一栄]交差点北角(市バス「京大正門前」)

主催：京都大学人文科学研究所

問合せ：京都大学人文科学研究所総務課

〒606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町 Tel.075-753-6902

後援：(財)人文科学研協

ホームページ <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

第一次世界大戦と芸術

第一次世界大戦はヨーロッパ芸術の歴史に凄まじい爪痕を残しました。音楽とか文学とか美術と聞いて私たちが普通思い浮かべるような、そういう「芸術」の歴史は、この大戦を境に実質的に崩壊してしまったとすら言えるでしょう。代わって台頭してくるのが、いわゆるアヴァンギャルド芸術であり、映画産業であり、アメリカ発のジャズやポピュラー音楽です。このシリーズでは、「芸術史における二〇世紀」の荒々しい幕開けとしての第一次世界大戦を、音楽／美術／文学／映画を通して考えてみたいと思います。



岡田 暁生

おかだ・あけお

MEMO

京都大学人文科学研究所准教授

(専門) 西洋音楽史

(著書) 『西洋音楽史』、『オペラの運命』、『バラの騎士の夢』など



高階 秀爾

たかしな・しゅうじ

MEMO

大原美術館館長、
京都造形芸術大学大学院長

(専門) 美術史

(著書) 『世紀末芸術』、『ルネッサンスの光と闇』、『日本近代美術史論』、『ピカソ 劇画の論理』、『20世紀芸術』、『本の遠近法』など



石田 美紀

いしだ・みのり

MEMO

新潟大学人文学部准教授

(専門) 映像文化史

(共著) 『カラヴァッジョ展』、『ヴィスコンティ映画祭2004』

(翻訳) 岡田暁生との共訳、アレクサンドロ・ピッコロミニ『女性の良き作法について(ルネッサンスの女性論1)』



塚原 史

つかはら・ふみ

MEMO

早稲田大学法学部教授

(専門) フランス現代思想、表象文化論

(著書) 『アヴァンギャルドの時代』、『記号と反抗』、『ダダ・シュルレアリスムの時代』、『人間はなぜ非人間的になれるのか』、『ボードリヤールという生き方』など

「伝統中国の庭園と生活空間」(国楽シンポジウム)

2007年6月9日(土) 9:30~18:30

10日(日) 9:00~18:30

田中淡、榎浦勲、ジェイムズ・C・Y・ワット ほか

●京都府立美術館みやこめっせ大会議室・要申込・無料

「名作再読—いま読んでたらこんなに面白い(2)」

(夏期公開講座)

2007年7月14日(土) 13:00~17:00

王寺賢太、井野瀬久美恵、岡田暁生

●人文研本館大会議室・申込不要・無料